

コメントテンプレート

日付:	資料 3 産業標準案作成対象テーマの審議について	プロジェクト:
-----	--------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤					資料 3 の最終ページ、C61810-1 の“対応する国際規格番号及び名称”欄、この規格に関してだけ、西暦年の記載がないようです。付記してはいかがでしょうか。		ご指摘どおりに修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C1612	プロジェクト:
-----	--------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
					(コメントなし)		

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C3665-1-1	プロジェクト:
-----	------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
					(コメントなし)		

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C3665-1-2	プロジェクト:
-----	------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	41 の後	箇条 2		Ed	42～46 行目の置換により、JISC60695-4 を引用している箇所がなくなるのでは？ 本文中に引用箇所があるなら、そのままとする	「箇条 2（引用規格）の次を削除する。 “JIS C 60695-4…（IDT）” という文章を追加する	箇条 3（用語及び定義）の前置き文で引用しているので、このままとします。
加藤	67	5.4.2		Ed	65 行目、66 行目と表記を合わせる	場合は、 → 場合、	ご指摘のとおり、修正します。
下川	72		図 2	ED	下部の寸法補助線の始点はどこですか？		ご指摘の寸法補助線の始点は、還元炎の先端です。ご指摘を踏まえて、図 2 を修正し、475±5 の下部の寸法補助線の始点が還元炎の先端になるようにします。
若月	73			ge	図 2（試験片への炎の当て方）を次に、置き換え	図 2（試験片への炎の当て方）を、次に置き換え	ご指摘のとおり、修正します。C3665-1-3 も同様に修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C3665-1-3	プロジェクト:
-----	------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
若月	作成経過報告書			ge	経過報告書 5. (1) 「の規格は、垂直に布設した一条の絶縁電線、ケーブルまたは光ファイバークーブルが限定された燃焼条件での燃焼落下物（粒子）の測定方法について規定するものである」 この規格を踏まえれば何を言っているのかわかりますが、この文章だけを取り出すと、<ケーブルまたは光ファイバークーブル>と<燃焼落下物（粒子）>が短絡して意味がわかりづらい文章になっているように思います。	～限定された燃焼条件で燃焼するときの燃焼落下物（粒子）～	ご指摘のとおり、修正します。
加藤	38 の後	箇条 2		Ed	42～43 行目の置換により、JISC60695-4 を引用している箇所がなくなるのでは？ 本文中に引用箇所があるなら、そのままとする	「 “JIS C 60695-4… (IDT) ” 」 という文章を追加する	箇条 3（用語及び定義）の前置き文で引用しているので、このままとします。
加藤	46	4.3		Ge	この置き換えにより、一般的な濾紙を用いることができると考えてよい？		この置き換えは、ろ紙を使用する前のコンディションを具体的に規定したものであり、ろ紙は、C 3665-1-3 : 2007 の 4.3 に規定した仕様のとおりに、従来のろ紙と変わりません。
加藤	67	5.4.2		Ed	65 行目、66 行目と表記を合わせる	場合は、 → 場合、	ご指摘のとおり、修正します。
下川			図 2	ED	上記に同じ。（C3665-1-2 に同じ。下部の寸法補助線の始点はどこですか？）		C3665-1-2 と同様に、図 2 を修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C3666-2	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	88	箇条 2		Ed	注記の 2 行目の開始位置がおかしい	注記 (2 行目) のインデントを整える	ISO 3696 は、注記の 2 行目ではなく、別の引用規格ですので、原案のままとさせていただきます。
加藤	100	箇条 4		Ed	“pH 値”も“導電率”も定義から“溶液”を省略できるが、省略するか省略しないかを規格内で統一する	溶液の導電率も → 導電率も 又は pH 値を測定 → 溶液の pH 値を測定	修正案のとおり、“導電率も”に修正します。
本吉	142	5.5		ge	対応国際規格では吸収瓶の本数が 1 本から 2 本に変更したのに対し、今回の改正では更なる検証が必要ということで 1 本又は 2 本でもよいこととしたとのことだが将来的には国際規格に合わせて 2 本になると考えられるのか。		この規格は、試験方法規格であって、判定は個々の製品規格によります。この規格では、推奨値（附属書 A 参考）があるだけで、特に問題はありません。IEC の方法で、外れるのは一部の製品であり、今後、そのような製品については、材料の改良を検討するとともに、試験条件（1 本又は 2 本など）について検証を行った上で、IEC 規格への整合にむけて検討をすることとしています。 なお、吸収瓶の本数記録の必要性について、委員長、団体、事務局で確認し、原案通り不要としました。
加藤	144-145	5.5		Ge	142 行目で 1 本のガス吸収瓶を用いてもよいとしたため、“2 本のガス吸収瓶を使用する場合”としたと思われるが、“1 本のガス吸収瓶を使用する場合”については特に記載は不要か？	1 本のガス吸収瓶を用いた場合はどのように行うかの記載を追加	追加しなくても、規格利用者には十分わかるため、このままとさせていただきます。
加藤	197	7.3	第 2 段落	Ed	規格内で決められているなら、“規定”とする。それ以外であれば、そのまま	指定位置 → 規定位置	この場合、前後の文脈から「指定位置」ではなく「位置」が適切であるため、次

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C3666-2	プロジェクト:
-----	----------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							の3か所を「位置」に修正します。 197行 2か所 199行 1か所
加藤	177 224 226	6.1 8.1 8.1	第1段落 第2段落 第3段落	Ge	6.1では一般手順では3試験片を用意するとあるが、8.1では報告する場合、報告しない場合、いずれの場合においても“更に3回の試験を行い”とあるが、“更に3回の試験”は、最初の3試験片を全部使わずにおくのか？それとも実質6試験片が必要になるのか？	実質6試験片が必要であるなら、6.1で追記（補足）する	通常は、3試験片で済みますが、再試験が必要となる場合だけ、6試験片が必要となるので、対応国際規格のとおり、原案のままとさせていただきます。
加藤	261 263	図3 図4 図5	記号10 記号14 記号14	Ed	図3～図5で説明が異なる。どちらかに合わせる	燃焼ボード及び試験片 試験片入りの燃焼ボード	図3の記載を他の図の記載に合わせ、「試験片入りの燃焼ボード」に統一します。
西原					「(4)審議中問題になった点」が記載されているが、国際規格に部分的に一致させないことによる影響はないのか？（本文ではないとされていますが）また、「更なる検証が必要である」としているが、本件についての今後の対応は、どのように予定しているのか教えてください。		対応国際規格の試験方法の一部に懸念があったため、部分的に一致させないこととし、現行JISのとおりとしましたので、特に影響はありません。 今後、国内の電線製造業者及び材料製造業者において改良を検討するとともに、十分な検証を行った上で、対応国際規格に合わせることを検討します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄（委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント）：必須入力。入力されていないと投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください（例えば、列の削除・追加、セルのマージなど）。変更した場合、投票システム（National Ballots）が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C60068-2-11	プロジェクト:
-----	--------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
西原	142		表 1		該当する内容なのか分からないのですが、本件の内容を自分なりに調べていましたところ、 JISZ2371：2015 塩水噴霧試験方法 に本件と同様の表がされているのですが、圧縮空気圧 98kPa の温水温度は 47℃ となっています。今回の表では、 48℃ と若干、違う数値となっていました。が、内容が古いのか分かりませんが、問題ない認識でよろしいでしょうか？気になったので、念のため教えてください。		JIS Z 2371:2015 の対比表に記載があるように、圧縮空気 98 kPa の水の推奨温度が、 JIS Z 2371:2015 の対応国際規格である ISO 9227 では、 48℃ で JIS Z 2371:2015 では 47℃ となっています。これは、我が国の実情に合わせて変更されたもので、対比表では技術的差異はないと記載されています。 この規格では、対応国際規格に沿って 48℃ を推奨しています。 JIS Z 2371 で我が国の実情を考慮して推奨値を変更した経緯については、解説に記載いたします。
加藤	198	11.5		Ed	“.” を “,” に変更	また、 <u>塩化</u> → また、 <u>塩化</u>	修正いたします。
加藤	257 260	図 A.1 図 A.2	図中 7 図中 4	Ed	図 A.1 の 7、図 A.2 の 4 はいずれも “塩水噴霧” を表すが、指し示す先端が丸と矢印で異なっている。どちらかに合わせてはどうか		図 A.2 の 4 の先端を矢印に修正いたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C60068-2-13	プロジェクト:
-----	--------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	77	5.1.1		Ed	5.1.3 は時間に関する条件なので、“気圧の値”には含まれないのでは	5.1.2 及び 5.1.3 に示す → 5.1.2 に示す 又は 気圧の値は → 試験の厳しさは 気圧の値及び暴露時間は など	記入漏れと考えると「気圧の値及び暴露時間は、5.1.2 及び 5.1.3 に示す条件から選択することが望ましい。」とします。
加藤	103-104	5.4	第 4 段落	Ge	“製品規格では、気圧の変化率を 15 kPa/min 以下に規定してもよい”とあるが、製品規格に規定がない場合には 15 kPa/min を超える速度で下げるとのことか？それとも特に規定しなくてもよいが、規定する場合は変化率を 15 kPa/min 以下の値にしなければならない（要求又は推奨）ということか？		“The relevant specification may limit the rate of change of pressure to not more than 15 kPa/min when considered necessary.” ご説明の後者の意図をもつ、原文の表現に沿った規定です。
加藤	110	5.4	第 8 段落	Ge	“製品規格の要求事項の場合、気圧の変化率を 15 kPa/min 以下とする”とあるが、これは、製品規格で 15 kPa/min 以下の変化率を規定しということか？		「製品規格で要求する場合は、気圧の変化率を 15 kPa/min 以下とする。」と修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ *	コメント*	修正案	検討結果・対応案 事務局案
下川	94 97				割れ目」と「裂け目」の違いは何ですか？ 「裂け目」に限定するのが適当なのですか？		「割れ目」はわかかれて離れている位置（例えば、ひと続きになっていた道路が、向こう側とあちら側にわかれて離れてしまう状態。 「裂け目」は、まだ完全には離れておらず、くっついているところがある状態。 「対応国際規格の cracks（割れ目）、fissures（裂け目）を忠実に訳しております。 呼吸効果に関しては、割れ目と裂け目の違いは特にありません。」
西原	111				「好ましい」が使われていますが、他のところでは、全て「望ましい」が使われています。文脈的には、同じに感じますが、意図的な使い分けなのでしょうかね？そうであれば、合わせた方がよろしいのではないかと思います。		望ましいと統一する。
加藤	145	5.3	第2段落	Ed	“この条件を満たすため～”と同様の文章が 5.2（134 行目）にもあるが、5.2 では細別 c) の下の内容となっている。5.3 では本文となっているが、細別 b) の内容でなくてもよいか？ 149-153 行目のコメントも参照	細別 b) の内容なら、インデントを調整する	細別 b) の内容なので、インデントを調整する。
加藤	147	5.3	第4段落	Ge	“4.1 に規定する条件”とあるが、4.1 は“試験の概要”であり、“条件”ではないと思われる。5.2 の間違いではないのか？	4.1 → 5.2	2009 年の第 2 版の記述が残っており、明らかな間違いなので、5.2 と修正する。
加藤	149-153	5.3	第4段落 細別 1)～3)	Ed	現在の位置は細別の下の細別の位置。細別 b) の内容でないなら、142-144 行目と同様の位置にする。 145-153 行目までが細別 b) の内容なら、145-148 行目の位	細別 1)～3) のインデントを調整する（142-144 行目と同じ位置） 又は	細別 b) の内容でないので、インデントを調整する。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ ※	コメント*	修正案	検討結果・対応案 事務局案
					置を整え (134 行目の位置)、細別 1)~3)はそのまま	145-148 行目のインデントを調整する (134 行目と同じ位置)	
加藤	163	7.1	第 3 段落	Ed	単位記号と用語を併用しない	1 K/分 → 1 <u>K/min</u> 又は 1 <u>ケルビン毎分</u>	1 K/min とします
加藤	168	7.1	図 1	Ed	特に上のグラフの単位 (%) が縦軸に重なって見辛いの で、図 2 のように方向を変える	縦軸名の向きを軸方向に沿わせる方向にする (左 に 90° 回転)	word ファイルでは問題ない ことを確認している。
加藤	190 259		図 2 図 4	Ed	図 2 の領域 J の上限側のグラフ、-10 °C に対して、+2 度 に見えない (+4°C~+5°C) くらいに見える (-10°C に対し ての-2°Cの幅より、明らかに上側に広い)	可能なら図の修正。無理ならそのまま	確かにそのように見える が、対応国際規格と同じな のでこのままとする。
加藤	203	7.4.1	第 1 段落	Ed	適用しなくてもよい (あくまで一例であり、類似の別サイ クルでもよい) ように読めるが、それでよいか?	適用可能である → 適用する	「適用できる」と修正す る。(対応国際規格では、 is ” applicable to all cycles”)
加藤	239	7.4.3	第 1 段落	Ed	適用しなくてもよい (あくまで一例であり、類似の別サイ クルでもよい) ように読めるが、それでよいか?	適用可能である → 適用する	「適用できる」と修正す る。
加藤	240	7.4.3	第 2 段落	Ge	“温湿度サブサイクル” が 7.4.1 の領域 A~領域 H に対応 するのでは? 現行の文章では、7.4.1 の領域 A~H のサイ クルをもう一度繰り返すようにも読める	7.4.1 で規定した領域 A~領域 H のサイクルに続 けて、次による。 など	修正案に同意して修正する (対応国際規格では、 “Cycles which do not include a cold subcycle following the humidity/temperature subcycle are the same as described in 7.4.1.”)
加藤	310	箇条 9 g)	2 行目	Ed	“(試験層…” の先頭位置に合わせた方がよいのでは	細別 g)の 2 行目の先頭位置を整える	修正案に同意して修正す る。
加藤	317	箇条 9	第 2 段落	Ed	302 行目では“必須事項” という用語は用いていないの で、補足するか、言葉を変える	必須事項に加えて → <u>a)~m)</u> の事項に加えて <u>上記の必須事項</u> に加えて など	上記の必須事項に加えてと 修正する。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ *	コメント*	修正案	検討結果・対応案 事務局案
加藤	165	3.7	注釈 3	Ed	固定点に近接した点を監視点にできない場合に、“何が”監視点として使用されるのか不明。補足した方がよいのでは	製品規格で監視点として使用される → ?	「固定点に近接した点を監視点にできない場合には、製品規格で監視点を規定するのがよい。」と修正致します。
加藤	305	3.39	注釈 1	Ed	“無限の機関”で正しい? 歪度では“無限の周期”とされている (313 行目)	機関 → 期間? 周期?	期間と修正する
加藤	349	4.3	第 1 段落	Ed	“又は”が連続する。より小さい選択の方を“若しくは”にする。	正弦波振動又はランダム波振動で調査するか、又は試験中に → 正弦波振動若しくはランダム波振動で調査するか、又は、試験中に	修正に同意する。
加藤	426	4.7.1	第 1 段落	Ed	“か”は無くてよいのでは	いずれか <u>か</u> を用いるかを → いずれを用いるかを	修正に同意する。
加藤	433	4.7.1	最終段落	Ed	“次”を明確にしておく	次の方法 → 4.7.1.1~4.7.1.3の方法	修正に同意する。
加藤	516 519	8.1	第 1 段落	Ed	第 1 ダッシュと第 4 ダッシュの括弧の内容、表現が違うが、何か意図があるのか?	(規定している場合) と (規定がある場合)のどちらかに統一する	規定がある場合と修正致します。
本吉	581	8.4.1	図 5	ge	上のグラフの横軸のラベルと単位がない		上段の横軸のラベルと単位を 時間 (秒) と記載します。
加藤	582	8.4.1	図 5	Ed	グラフの縦軸の単位が軸に重なって見辛いので、図 1 などのように方向を変える	縦軸名の向きを軸方向に沿わせる方向にする (左に 90° 回転)	word ファイルで確認したところ、問題ありませんでした。
加藤	583	8.4.1	図 5	Ed	尖度、歪度は記号説明ではないのでは	“記号説明” 削除	対応国際規格では、“key”があるので、原案のまま。
加藤	588	8.4.2		Ed	B.6 (827 行目) とどちらかに表現を合わせてはどうか	動作させ → 作動させ	修正に同意する。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C60068-2-64	プロジェクト:
-----	--------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細 分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメン ト タイプ *	コメント*	修正案	検討結果・対応案 事務局案
加藤	703	A.4	表 A.7	Ed	分類 1d の使用条件欄 分類 1c の表現と合わせてはどうか	主翼, 脚室, 尾翼 → 主翼, 脚室 <u>及</u> び尾翼	修正に同意する。
加藤	741-742	B.2.1		Ed	三つの条件文が“又は”と“及び”で繋がれている (A 又は B 及び C) が、どういう関係なのか? A, B 又は (及び) C か、A 又は “B かつ C” か、“A 又は B” かつ C なのは?	剛性の高い供試品若しくは小形の供試品の場合 (A), <u>又は</u> 供試品が与える動的な影響が小さい場合 (B) <u>及び</u> 取付具の剛性を試験振動数範囲で確保している場合 (C), 基準点となる一つの監視	修正に同意する。
加藤	751	B.2.1.2		Ed	“次”を明確にしておく	次の二つの制御方法 → B.2.1.2.1 又は B.2.1.2.2 の制御方法	修正に同意する。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C60068-2-67	プロジェクト:
-----	--------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ *	コメント*	修正案	検討結果・対応案 事務局案
					(コメントなし)		

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレート

日付:	規格番号: C60068-3-3	プロジェクト:
-----	-------------------------	---------

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ *	コメント*	修正案	検討結果・対応案 事務局案
					(コメントなし)		
事務局				ed	規格票のページ上部に“+COR”は必要か?	(事務局で確認)	IEC 規格では、Technical Corrigendum 発行時点で、規格本文は修正されているため不要であると判断。 原案 1 ページ右上の規格番号部に COR は不要。また、規格票のヘッダー部にも不要とした。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。